

新たな公設産直を

魅力ある道の駅を掲げる



吉川 淑子 議員
(新 生 会)

問 我が町には、6次産業化を目指した産直施設があり、農家の方々のおかげで豊間根産直は好評である。本町の魅力を発信するため、この取り組みをさらに充実、発展させなければならぬ。町として支援の考えは。

佐藤町長 本町で生産された農産物や農産加工品などの売り場として産直施設は、非常に重要であると認識している。その中で、新鮮で安全安心なものを提供している農家の方々には敬意を表する。町としては、産直運営団体の視察研修に支援を行っている。

問 豊間根産直は、農家の方々が資金を出し合い自分たちの力で立ち上げた施設であるが、十数年

が経ち高齢化から先行きが不安である。新たに組合員を広く募集し、多くの意欲ある方々と新たな産直施設を公設民営で建てるべきと考えるがどうか。

古館農林課長 町内の産直団体と話をし情報共有しながら、どのような手順で豊間根産直を伸ばせるか検討していきたい。

問 豊間根駅前周辺は、シャッター街となつている。高速道路、インターチェンジができるが、公設トイレもなければ豊間根は通過型となり人は立ち寄らない。東日本大震災では、多くの避難者の方々に食糧などを提供した事実もある。豊間根地区は食糧基地でもあり、産直施設の建設を要望する。

町長 トイレをつくったからといってすぐ繁盛する問題ではない。公設のトイレは、維持管理が大変であり、衛生的に大変な部分がある。治安上の問題もある。三陸沿岸道路が通ること、町全体として魅力ある道の駅が

あるということも掲げていく。ある程度の規模の施設を何カ所か持つよりは、マスマリットを持つた道の駅というものが地域間競争になっていく。

しかしながら豊間根地区は、震災時、温かいおにぎりを供給してくれた。多くの命をつないでくれた重要な地域であると思っている。



民間活力の豊間根産直

町としての国体の総括は

町民総力で大成功

問 希望郷いわて国体が開催され、本町では高等学校野球競技が行われた。婦人会のおもてなしをはじめ、大会関係者、町民の協力で素晴らしい

大会であった。大会本部長である町長に大会の総括および「スポーツの町やまだ」としての今後の町の姿勢を伺う。

町長 天候にも恵まれ、無事全日程を終了することができた。大会運営に協力いただいた皆さまに感謝したい。町内の児童生徒による友情応援、本町の食材を使ったおもてなし料理の振る舞いなど、随所において、おもてなしの心、支援への感謝の気持ちを発信できたと思っている。

町民の総力を結集した大会であったと自負している。引き続き幼児から高齢者まで、より多くの町民が日常的にスポーツに親しみ、健康増進が図られる環境づくりに取り組み、体育協会やスポーツ少年団本部などの活動を支援していく。